

## 接触、損傷事故防止

### 新屋地区舗装その2現場 で佐藤渡辺の石井社長

佐藤渡辺の石井直孝社長は23日、北陸地方整備局富山河川国道事務所発注の「R3・4新屋地区舗装その2工事」の現場で安全パトロールを行った。写真。石井社長のほか、高畑一幸北陸支店長、小刀禰豊中部支店安全環境部長、中西雅彦富山営業所長が参加した。



パトロールは、全国安全週間準備期間の取り組みの一環で、経営トップによる安全意識の高揚を目的とし、進捗状況の確認と安全衛生管理活動を確認した。

高畑支店長は「交差点付近での工事が進捗(しんちよく)していく中、今後は本格的に舗装工事に移行していくと思うが、公衆災害はもちろん、交通災害、熱中症にも十分注意するように」と要請した。

石井社長は講評で「新屋地区舗装工事は高架化の前準備として、国道8号を切り回す工事。沿線店舗への乗り入れや、県道、市道との交差点も多いため分割施工となるが、狭小部での重機との接触事故、交差点の地下埋設物や架空線の損傷事故に注意し、工事を進めてほしい」と呼び掛けた。

